

図書館だより

NO. 4

2016年7月19日

◇6月の学年別貸出冊数

学年	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
貸出冊数	452冊	429冊	230冊	78冊	76冊	53冊

総貸出冊数 1367冊

◇夏休みの開館日

今年から、原則夏休み中も図書館は開館しています。 月～金曜日 *開館時間 8:45～16:55

みなさんは、家でガッチリ勉強しようとしたものの、まったく集中が続かなかった、という経験はありませんか。自宅にいと、テレビやゲームなどさまざまな誘惑があるし、広い家でなければ、なかなか書斎のような静かな環境は持てません。また、家だとリラックスしすぎるという問題もあります。

学校の図書館や自習室では、同じく勉強に励む仲間が相互に刺激を与え合い、集中して勉強する最高の空間です（もちろんそうした環境維持のため、図書館は無音の世界であるべきです）。図書館の机は広めで、さまざまな資料やファイルを広げて見ながら検討したり、勉強や執筆したりするのに適しています。

この夏休み、富士の図書館で学習力UPを図ってみませんか。

◇夏休み特別貸し出し・読書月間

前回もお知らせしましたが、7/14(木)～8/24(水)は、10冊まで借りられます。返却期限はすべて9/1(木)となります。せっかくの機会ですから、たくさん借りて、たくさん本を読んでください。

*そこで、司書から夏休みにおすすめの図書をご紹介します（3人の司書が各1冊選びました）

「モモ」 ミヒヤエル・エンデ 作 /大島かおり 訳 943 頁

1974年、ドイツ児童文学賞を受賞。

不思議な少女モモが円形劇場に住み、多くの人と交流していく姿を描いています。時間の真の意味、ゆとりとは何か？人生とは何か？を問いかけている冒険物語。挿絵も楽しめます。

「夜のピクニック」 恩田 陸 作 913.6 頁

2005年 吉川英治文学新人賞と第2回本屋大賞を受賞

「歩行祭」。これは高校生活最後を飾る伝統行事での主人公の密かな誓いと、親友たちとのいきいきとした語らいの物語です。珠玉の青春小説。2006年に映画化もされています。

「次の本へ」 苦楽堂 編 019 頁

「次にどんな本を読むといいのか、わからない」そんな人のために作られた本です。

「この本の使い方」から「次の本」に出合うきっかけ別インデックス」まで、丁寧に作られています。次に読む本との出会い方が、きっと見つかります。84人が案内する、「面白い2冊目」との出会い方。

*夏休みにおすすめの展示をご紹介します。

「海のハンター展」 国立科学博物館

展示期間：7/8～10/2

特別展「古代ギリシャー時空を越えた旅」 国立博物館・平成館

展示期間：6/21～9/19

ギリシャの彫刻、フレスコ画、金属製品などの展示をしています。

「大妖怪展 土偶から妖怪ウオッチまで」江戸東京博物館

展示期間：7/5～8/28

◎ 図書館を活用しましょう：今回から図書館の活用について、何回かに分けて紹介していきます。

◆ 第1回（基本の図書館機能の活用）

図書館といえば、本を無料で貸してくれるところ、本を読むところというイメージが強いと思います。本校の図書館も毎日数十冊以上の貸し出し、昼休みや放課後の読書利用も机が埋まるほど盛況です。

さて、図書館には主に3つの機能があります。前述の①貸出機能、②閲覧（読書）機能、③情報センター（資料探索・収集、調査）機能、加えて学校図書館には④自習室としての機能があると思います。

ですが、他では代替できない最大の機能は、③の機能です。確かに今はインターネットの利用で影が薄くなっている感はありますが、図書館こそが長い歴史を持った情報センターなのです。情報集積の場として画面ではなく書籍としてのデータベースが広い歩き回れる空間のなかにあるのです。

ところが、この機能の活用があまりなされていない現状があります。本校では「探究未来学」「総合的な学習の時間」をはじめ、各教科でも主体的に皆さんが自分のテーマ決め、調べ、課題解決に向かっていく力を育成することを柱の一つにしています。こうした課題研究活動の自分の研究室（ラボラトリー）として図書館を活用してほしいと思います。

図書館では森羅万象あらゆることについて、情報（図書）を主題別に分類しています。

Step1：まずは、分類法則を押さえましょう。本を探すときの手間がまるで違います。図書館の本の背表紙には必ず三段に分かれたラベルが貼ってあります。これを「請求記号」といいます。このラベルの第一段目に3、4桁の数字が書かれています。このうちの左から2桁を押さえることです。具体的には、大きな10分類とその中に含まれている分野（100分類）2つか3つ興味・関心のある分野を押さえておくと資料を探すとき便利です。その10分類と含まれている主たる分野を紹介します。

0：総記（情報科学-007、図書館-010、百科辞典-030、論文集-040、ジャーナリズム - 070 など）

→〈コンピュータ利用はここ。ただしコンピュータハード関係は「548」になる。〉

1：哲学（哲学-100～130、心理学 - 140、倫理・道徳 - 150、宗教 160～190 など）

→〈性格判断や占い、カウンセリングなどは心理学「140」番台に主として含まれます〉

2：歴史（歴史 200～270〈日本史 210〉、伝記 - 280、地理 - 290 など）

→〈日本の地方史は 211～219 たとえば京都史は 216.2 です。〉〈世界史は地域（大陸）別に 220～270 と大きく 6 分類されます。〉 →〈旅行関係ガイドは 290 番台になります。〉

3：社会科学（政治、法律、経済 - 31～34、統計 - 35、教育 - 37 など）

→〈進路関係の職業理解は 366、進学関係は 376、377 となり、本校では別置しています〉

4：自然科学（数学 - 41、物理 - 42、化学 - 43、宇宙 - 44、地学 - 45、生物 - 46～48、医学 - 49）

→〈理数関係は、ほぼ科目と連動。医学については、家庭の医学関係が 598、599 にも有〉

5：技術・工学（工学・工業関係 - 51～58、家政学 - 59）

→〈将来の技術系の仕事志望者は、関連のありそうな分野は押さえたい。料理関係はこちらの 596〉

6：産業（農林水産業 - 61～66、商業 - 67、運輸・交通 - 68、通信 - 69）

→〈ほとんどの職業に関するものはここにある〉

7：芸術（美術関係 - 71～73、音楽 - 76、演劇 - 77 など）

→〈芸術科目はここ。ただし、74：写真は、別置。体育・運動系は 78：スポーツとして別置。〉

8：言語（日本語 - 81、英語 - 83 など）

→〈勉強法も含めて、国語や文章表現・論文は 81、英語関係は 83 にあります。〉

9：文学（日本文学 - 91、英米文学 - 93 など）

→〈小説などの読み物系、日本の近代の小説は 913.6、文庫は B91、古典関係は 913.2～5〉

Step2：自分専用の本棚をもつ。一つのテーマの周辺には類する主題の資料があります。上記の分類法則を押さえたら、今抱えているテーマに関連する2桁の分野の棚（自分の棚）をじっくり見ることから始めましょう。特別コーナー（別置）にしているも、並べ方は原則番号順に並べてあります。

※ 本校の図書館は貸し出し重視から、学習支援重視にシフトを移していこうと考えています。